

## 小学校第 2 学年 道徳科学習指導案

- 1 主題名 「自分らしく」 (A-4【個性の伸長】)
- 2 教材名 「ありがとう りょうたさん」(東京書籍)
- 3 主題設定の理由

## ○ねらいとする価値について

個性の伸長は、自分のよさを生かし更にそれを伸ばし、自分らしさを発揮しながら調和のとれた自己を形成していくことである。この内容における特徴として、他者と比較して特に自分の目立つ点と捉えることがあり、それは長所だけでなく短所も含むものである。そのため、望ましい方向へ児童が進んで行けるよう配慮が必要である。特に低学年の児童は他者との関係によって知った自分の特徴を、自身で実感することによって、より確かなものにしていく。その際、結果や能力ばかりに目が向くと自己肯定感を抱けずに過ごしていくことになってしまう。自分の長所を多く実感し、他者から認められるようにすることが肝要である。

## ○児童の実態について

自分の性格に関するアンケートを実施したところ、92%の児童が自分には長所があると考え、自分ができることを中心に記述することができていた。内容も様々で自分を肯定的に捉えている児童が多かった。短所については、56%の児童が記述しており、長所に比べて自分の課題に目を向けている児童が少ないという印象があった。また、56%の児童が友達をうらやましいと思った経験があり、それは才能や持ち物に関することであった。長所の捉え方を広げ、性格や行動にも目を向ける必要がある。また、友達の長所を感じることで自分の短所にも目を向け、見習ったり、競い合ったりして自分を伸ばしていく姿勢を育みたい。

## ○教材について

本教材は、主人公のりょうたとその友達のゆきおの個性が際立つように書かれている。時間が掛かるが、ていねいでまじめなりょうた。あわてんぼうだが、スポーツが得意なゆきお。二人がそれぞれ活躍する場面と苦手になっている場面があって、どちらにもよさが感じられるように書かれている。また、二人はお互いの苦手なところを互いにカバーし合うような友達関係を築いていることが分かる教材である。

一見短所だと見られるような性格でも、その性格のおかげでできる行動がある。また、友達のよさを認めて、あこがれを抱くことで、良好な友達関係を築いたり、自分を磨いていけたりすることができる。単純に自己のよさを見付けるだけでなく、これから伸ばしていきたい自己のよさのヒントを友達に見付けたり、自分が気付いていない自己のよさを友達に見つけてもらったりすることで、自分に自信をもち、しっかりと自分を振り返ることのできる児童を育成できると考える。

## ○指導の重点

教科書を使い、展開前段で「人としてのよさ」についての捉え方にイメージをもたせる。目立ったり、結果がよかったりするよさばかりでなく、その人らしさや、まじめ、時間を守るなどの周囲の人に良い影響を与えているような「人としてのよさ」にも目を向けさせたい。その際、その人がどうしてそのような行動ができるのか考える視点をもたせることで、捉え方を広げさせたい。

展開後段では、自分や周囲の人に目を向けて「人としてのよさ」を具体的に考える活動に取り組ませる。前段で広げた「人としてのよさ」を手掛かりに、普段あまり目を向けていないようなところにも目が向くように仕向けたい。言葉が思い付かない児童も多いので、あらかじめヒントになりそうなキーワードを使ってカテゴライズした八つの島に自分や友達の名前を当てはめるような活動に取り組ませる。友達の名前を島に貼り付けたら、必ず、「どの島に貼り付けたか」「どこ(どの行動、どういうエピソード)からそのように感じたのか」を友達に伝えに行かせ、自分が気付いていない「人としてのよさ」にも具体的に目が向くように仕向け、そのよさを大切にしていこうという意欲をもたせたい。

## 4 本時のねらい

自己の長所を、才能や持っているものの多さとしてではなく、人としてのよさとして幅広く捉えさせ、友達と共に自己の長所を伸ばしていこうとする意欲を育てる。

5 展開

進	学 習 活 動	主な発問・児童の反応例	指導上の留意点・予想される児童の変化(教師の願い)
導 入	<p>1 対義語を基に長所に対する自己の考え方を明らかにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・速い⇔ゆっくり</li> <li>・多い⇔少ない</li> <li>・上手⇔下手</li> </ul> </div>	<p>○どちらが素敵ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・速い方がいい。</li> <li>・多い方がいい。</li> <li>・上手な方がいい。</li> </ul> <p>○大人しい人、スポーツ得意な人どちらが活躍しそうですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ得意な人はいろいろなところで活躍できそう。</li> <li>・大人しい人は何で活躍できるのかな？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対義語などで一見よくできそうな方に目が向いていることを、児童に感じ取らせる。</li> <li>・言葉を付け加えて同様の質問をし、一見よくなさそうなどころにも、見方によっては価値がありそうなどころをつかませる。</li> <li>・どちらが活躍しそうかを予想させて、教材読解への意欲付けを図る。</li> <li>・人としてのよさにはどのようなものがあるのか問題提起をして学習へつなげる。</li> </ul>
展 開	<p>2 教材「ありがとう、りょうたさん」を読み、話し合う。</p> <p>(1) ゆきおのいいところについて話し合う。</p> <p>(2) りょうたのいいところについて話し合う。</p> <p>(3) 自分や友達の長所の見付け合いをする。</p>	<p>○ゆきおさんの長所ってどんなところですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツが得意なところ。</li> <li>・りょうたをかばったところ。</li> <li>・元気がよさそうなどころ。</li> </ul> <p>○りょうたさんの長所ってどんなところですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆっくりだけど、ていねいなところ。</li> <li>・一度も忘れものをしていないところ。</li> <li>・ゆきおのボタンと毛糸を探し出したところ。</li> </ul> <p>○りょうたさんはどうして活躍することができたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆきおには助けってもらったから役に立ちたいと思った。</li> <li>・みんなが、りょうたさんのよさを分かっていたから。</li> <li>・日ごろからそういう行動をしていたから。</li> <li>・自分ならできるかもと信じていたから。</li> </ul> <p>○みんなは、どのようなよさを持っているのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも早く準備して、みんなに声掛けをしているよ。</li> <li>・〇〇ちゃんは、いつも優しくしてくれているよ。</li> <li>・悪いことをしたときは、ちゃんごめんなさいと言えるよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章から読み取れることだけでなく、想像して考えたことも取り入れていく。</li> <li>・どうしてそれが長所と言えるか、それはもっている人が他にいないかも合わせて問い、長所の考え方を捉えさせる。</li> <li>・行為について述べた場合には、どうしてそういうことができたのかも考えさせ、行為を支えるりょうたの性格や考えを想像させる。</li> <li>・みんなものぞいたところを調べ直したり、ていねいにそろえながら調べたりしているところも押さえ、りょうたの長所として捉えさせていく。</li> <li>・自分には無理だと思っていたり、役に立とうという気持ちがなかったりしたら活躍できたかを想像させ、布石とする。</li> <li>・短所と思われるところが、実は長所にもつながっていると感じ取らせる。</li> <li>・よさは自分で作っていけるという考えを持たせる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>長所について、努力で身に付けられるものや捉え方によっては長所につながるものがあることに気付くことができる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長所をやさしさ、やる気、勇気、正直、コツコツ、てきぱき、バランス、喜ばせ、の八つにカテゴライズし、当てはまるところに自分の名前を書いた赤の付箋紙を貼らせる。</li> <li>・同様に、友達の名前を書いた黄色の付箋紙を貼らせる。</li> <li>・取り上げた友達に、その理由と感じたことを一言知らせる。</li> <li>・教師も児童と一緒に見付け合いに参加し、名前が出ない児童がいないように配慮する。</li> </ul>
終 末	<p>3 見付け合いをした感想を伝える。</p>	<p>○見付け合いをした感想を書いて、意見を発表しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに気付きや感想を書かせて、長所の捉え方が変化した児童や前向きに伸ばそうと考えている児童を意図的に指名し発表させ、今後の生活への意欲付けを図る。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分や友達の長所を具体的に述べ、伸ばしていこうとする意欲をもつことができる。</p> </div>